

鹿児島県民総合保健センター

開設30周年記念式典 ・シンポジウム

日時

平成29年2月10日(金)
午後1時10分より

場所

鹿児島県医師会館大ホール
〔鹿児島市中央町8-1〕



公益財団法人

鹿児島県民総合保健センター

式 次 第

I 記念式典（午後1時10分～1時55分）

- 1 開 会 鹿児島県民総合保健センター副理事長 西俣 寿人
- 2 理事長式辞 鹿児島県民総合保健センター理事長 池田 琢哉
- 3 来賓祝辞
鹿児島県知事 三反園 訓 様
鹿児島市長（市町村代表） 森 博幸 様
- 4 来賓紹介
- 5 感謝状贈呈（個人19名、団体87団体）
- 6 「基本理念」及び「基本方針」発表 鹿児島県民総合保健センター
専務理事 西中須 浩一
- 7 閉 会 鹿児島県民総合保健センター常務理事 福山 芳明

II 記念シンポジウム（午後2時10分～4時40分）

■ 第1部 記念講演

演題：「わが国のがん対策に占める、検診の重要性」

講師：公益財団法人 日本対がん協会会長 垣添 忠生 先生

■ 第2部 パネルディスカッション

「これからの県民総合保健センターに対する要望及び期待について」

○コーディネーター

日本赤十字社 熊本健康管理センター名誉所長 小山 和作 先生

○パネリスト

・鹿児島県 保健福祉部 保健福祉部次長 中俣 和幸 氏

・出水市役所 市民福祉部 健康増進課 技術主査 平山 英里子 氏

・株式会社新日本科学 総務人事部 保健健康増進課 課長
松藤 純子 氏

・鹿児島県民総合保健センター副所長 桶谷 薫 氏

■ 閉 会

開設30周年記念感謝状贈呈者

【個人の部】

米盛 學	当センターの事業推進並びに発展に大きく貢献された個人
山田 榮一郎	当センターが実施する子宮がん検診の推進に大きく貢献された個人
有馬 貞三	当センターにおける読影や各種がん検診の推進に大きく貢献された個人
相良 有一	
豊平 謙	
中原 信昭	
橋口 良紘	
廣津 泰寛	
三谷 惟章	
飯田 正信	当センターが実施する人間ドックを多年にわたり受診されている個人
笠掛 久男	
小峯 一秋	
寺地 正吉	
戸澤 祐二	
中森 富雄	
西 文江	
東村 健一	
元山 茂治	
吉満 良子	

【団体の部】

協力団体	鹿児島県胸部集団検診読影研究会 (公社) 鹿児島県消化器がん検診推進機構 鹿児島県乳房集団検診読影研究会	当センターが実施する精度管理や読影力の向上に永きにわたりご協力いただいている団体
	鹿児島県結核成人病予防婦人会	検診の普及啓発活動並びに複十字シール運動に永きにわたりご協力をいただいている団体
	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科	当センターが実施する保健事業推進に永きにわたり、医師派遣、読影、結果判定など総合的に貢献された団体
市町村	鹿児島市	当センターが実施する保健事業の推進にご理解、ご協力をいただき、永きにわたり当センターに健診業務を委託され、住民の健康増進に努められている市町村
	鹿屋市	
	枕崎市	
	阿久根市	
	出水市	
	指宿市	
	西之表市	
	垂水市	
	薩摩川内市	
	日置市	
	曾於市	
	霧島市	
	いちき串木野市	
	南さつま市	
	志布志市	
	奄美市	
南九州市		
伊佐市		
始良市		

市 町 村	三 島 村	当センターが実施する保健事業の推進にご理解、ご協力を いただき、永きにわたり当センターに健診業務を委託され、 住民の健康増進に努められている市町村
	十 島 村	
	さ つ ま 町	
	長 島 町	
	湧 水 町	
	大 崎 町	
	東 串 良 町	
	錦 江 町	
	南 大 隅 町	
	肝 付 町	
	中 種 子 町	
	南 種 子 町	
	屋 久 島 町	
	大 和 村	
	宇 検 村	
	瀬 戸 内 町	
	龍 郷 町	
	喜 界 町	
	徳 之 島 町	
	天 城 町	
伊 仙 町		
和 泊 町		
知 名 町		
与 論 町		
事 業 所 (場)	株式会社 アステム	従業員の健康診断や人間ドックを永きにわたり当センターに 委託され、従業員の健康管理に努められている企業
	株式会社 アトル	
	以和貴苑指定 介護老人福祉施設	
	株式会社 エヌシーガイドショップ	
	学校法人南学園 鹿児島医療福祉専門学校	
	株式会社 鹿児島銀行	
	鹿児島県国民健康保険団体連合会	
	鹿児島県司法書士会 鹿児島支部	
	公益財団法人 鹿児島県地域振興公社	
	鹿児島県土地改良事業団体連合会	
	鹿児島県土地家屋調査士会 鹿児島支部	
	社会福祉法人 鹿児島市社会福祉協議会	
	鹿児島信用金庫	
	社会福祉法人緑風会 鹿児島太陽の里	
	鹿児島トヨタ自動車 株式会社	
	株式会社 加根又本店	
	株式会社 川北電工	
	社会福祉法人 霧島市社会福祉協議会	
	コーアツ工業 株式会社	
	株式会社 幸洋	
	小城製粉 株式会社	
	曾於農業共済組合	
	社会福祉法人緑風会 太陽の里療護園	
	学校法人 都築教育学園	
中川運輸 株式会社		
日本ガス 株式会社		
日本特殊陶業 株式会社 鹿児島宮之城工場		
南九州日野自動車 株式会社		
山佐ホールディングス 株式会社		
弓場建設 株式会社		

《基本理念》

県民の健康を願い、すこやかで活力ある暮らしを支援するため、健康の保持増進事業を通じて保健及び福祉の向上に寄与し、地域社会に貢献します。

《基本方針》

- 1 受診者に対して親切・丁寧な健診を心がけ、質の高いサービスを提供します。
- 2 高い技術や最新知識を習得し、安全で精度の高い健診の維持・向上に努めます。
- 3 一人ひとりの健康づくりに役立つ知識の普及と情報発信に努めます。
- 4 常に自己研鑽に励むとともに、仕事に誇りを持ち活力にあふれた職場環境をつくります。
- 5 公益財団法人として健全で公正な事業運営に徹し、県民の健康増進に尽力します。

平成29年2月10日

公益財団法人 鹿児島県民総合保健センター

開設 30 周年記念 シンポジウム



第1部 記念講演

演題：「わが国のがん対策に占める、検診の重要性」



公益財団法人 日本対がん協会
会長 垣添 忠生 先生

1967年東京大学医学部卒業。都立豊島病院、東京大学医学部泌尿器科助手等を経て、1975年国立がんセンター病院泌尿器科に勤務。

1987年同病院手術部長、第一病棟部長、副院長を経て、1992年1月に病院長同年7月に中央病院長、2002年4月総長に就任。

2007年4月国立がんセンターを退職し同名誉総長、財団法人日本対がん協会会長に就任。

国立がんセンター田宮賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞、瑞宝重光章などを受賞。

主な著書：「発がんからみた膀胱がんの臨床」(メディカル・ビュー社)、
「がんと人間」(共著 岩波新書)、
「患者さんと家族のためのがんの最新医療」(岩波書店)、
「前立腺がんで死なないために」(中央公論社)、
「妻を看取る日」(新潮社)、
「悲しみの中にいるあなたへの処方箋」(新潮社)、
「がんと人生」(中央公論新社) など。

第2部 パネルディスカッション

テーマ：「これからの県民総合保健センターに対する 要望及び期待について」

《コーディネーター》

日本赤十字社 熊本健康管理センター 名誉所長

小山 和作 氏

《パネリスト》

鹿児島県 保健福祉部 保健福祉部次長

中俣 和幸 氏

出水市 市民福祉部 健康増進課 技術主査

平山 英里子 氏

(株)新日本科学 総務人事部 保健健康増進課 課長

松藤 純子 氏

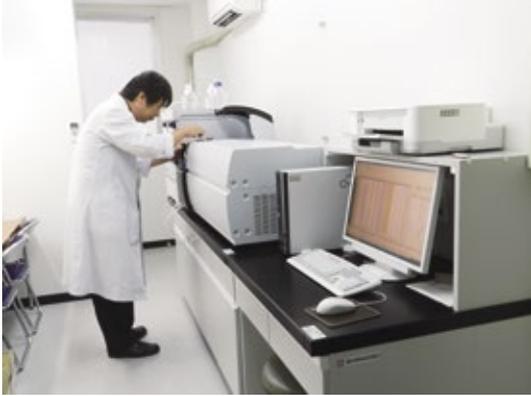
県民総合保健センター 副所長

桶谷 薫 氏

公益財団法人鹿児島県民総合保健センター30年のあゆみ

年 月 日	事 項
昭和59年11月 9日	財団法人鹿児島県民総合保健センター設立
昭和61年 4月 1日	《 県民総合保健センター開設 》 〔(財)結核予防会、(財)日本対ガン協会、(財)予防医学事業中央会の鹿児島県支部を兼ねる〕 財団法人鹿児島県民総合保健センター業務開始 〔 結核検診、胃検診、子宮検診、乳房検診、甲状腺検診、卵巣検診、肝臓・胆のう検診、 職域検診、学校保健、母子保健、検査事業、精密検診、健康相談、事業所検診開始 〕
昭和61年 4月 3日	県民総合保健センター開設記念式典を開催 
昭和61年 6月 1日	人間ドック(日帰り)開始
昭和61年10月 1日	神経芽細胞腫検査開始
昭和61年12月 1日	広報誌「健やかかごしま」を発行
昭和62年 4月 1日	子宮がん検診の一環として体部がん検診開始
昭和62年10月15日	肺がん検診開始
昭和62年12月 1日	「昭和61年度事業年報」を発行(以降毎年度発行)
昭和63年10月23日	県民総合保健センター開設3周年記念「いきいき健康まつり」開催
平成 元年10月12日	ガン征圧全国大会開催 
平成 3年 6月27日	子宮がん集団検診受診者100万人突破
平成 4年 4月 1日	大腸がん検診開始
平成 4年 7月 1日	コンピュータシステム始動
平成 4年 8月29日	胃集団検診30周年記念事業を開催
平成 4年10月 1日	1泊2日人間ドック開始
平成 6年 3月 2日	胃集団検診受診者200万人突破
平成 7年11月13日	骨粗鬆症検診開始(施設)
平成 8年 4月 1日	(社)全国労働衛生団体連合会に加入
平成 8年 9月27日	県民総合保健センター開設10周年記念式典を開催 

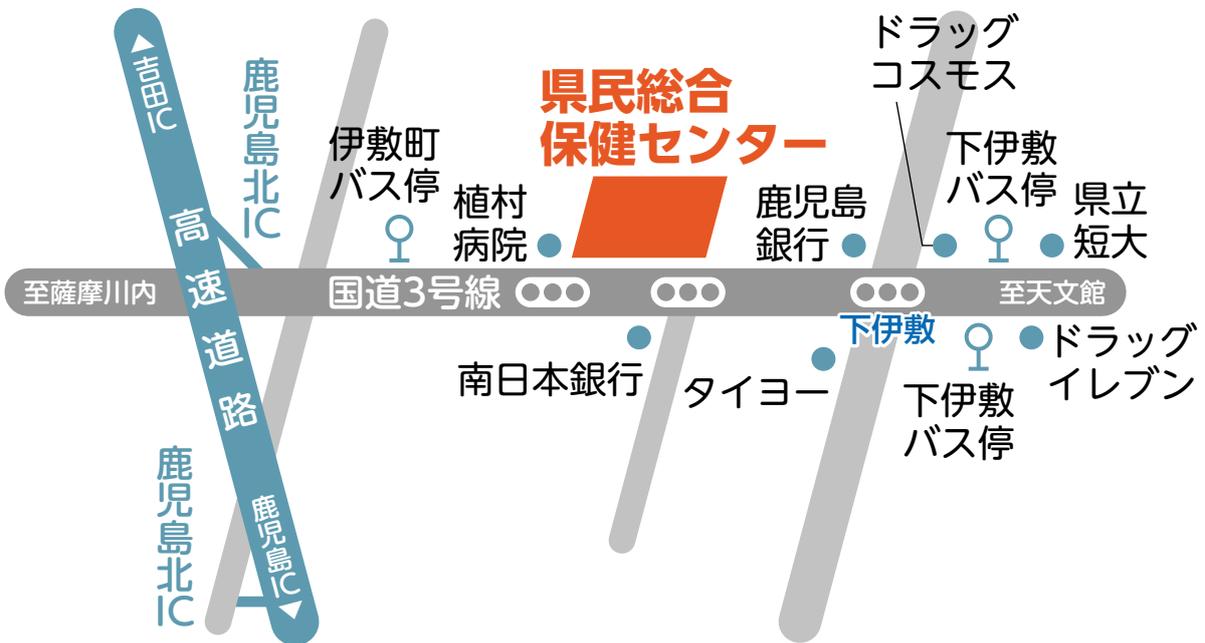
年 月 日	事 項
平成 9年 1月 7日 平成10年 8月18日 平成11年 4月 1日 平成11年 9月21日 平成11年11月 1日 平成12年 4月 1日	人間ドック1日60人体制開始 骨粗鬆症集団検診開始 腸内細菌検査開始 コンピュータシステムを新システムに更新 前立腺がん検診(人間ドックオプション)開始 (社)全国労働衛生団体連合会が主催する労働衛生機関評価機構の評価基準達成認定証交付 乳房X線(マンモグラフィ)検診開始(同検診車を製作)
	平成12年 9月24日 第1回全国一斉複十字シール運動キャンペーンを実施(以降毎年実施) 平成13年 4月 1日 鹿児島県から「県民健康プラザ健康増進センター」の管理運営を受託 平成13年 7月16日 県民健康プラザ健康増進センター業務開始
	平成14年 4月 1日 肝炎ウイルス集団検診(B・C型肝炎)開始 平成14年 8月 1日 鹿児島県から「がん登録評価事業」を受託 平成15年 4月 1日 水質検査(レジオネラ属菌など)開始 国立・市立小中学校の結核検診を受託 平成15年 7月10日 胃がん集団検診受診者300万人突破 平成15年 7月18日 ヘリカルCTによる肺がんCT検診開始(施設) 平成15年12月 1日 身体障害者対応型胸部X線デジタル検診開始(同検診車を製作)
	平成16年 4月 1日 神経芽細胞腫検査廃止 平成17年 1月27日 胃部X線デジタル検診開始(同検診車を製作)

年 月 日	事 項
平成17年 4月 1日 平成18年 4月 3日 平成18年10月10日 平成18年10月13日	頸動脈超音波検査・血圧脈波検査開始(施設) 内臓脂肪量検査(CT)開始(施設) 腹部超音波検診車(検査機器3台搭載)を製作 県民総合保健センター開設20周年記念式典を開催 
平成19年12月16日 平成20年 3月21日	「かごしまがん征圧県民大会」を鹿児島県と共催で開催(以降毎年度開催) 胃デジタル検診車(撮影装置2機搭載)を製作 
平成21年 4月 1日 平成22年 2月21日 平成22年 4月 1日 平成23年 1月17日 平成23年 9月1・2日 平成24年 4月 1日 平成24年10月 1日	メンタルヘルス健診開始 「全国巡回がんセミナー」を日本対がん協会・鹿児島県・南日本新聞社と共催 検診システムを新システムに更新 乳房X線(マンモグラフィ)デジタル検診開始(同検診車を製作) 「2011年度がん征圧全国大会」を日本対がん協会と共催 公益財団法人へ移行 タンデムマス法による先天性代謝異常検査開始 
平成25年 3月29日 平成27年12月 1日 平成28年 1月29日	施設内胃部X線デジタル検診開始 ストレスチェック制度開始 機関誌「健康アップかごしま」発行

公益財団法人
鹿児島県民総合保健センター
のシンボルマーク



H: Health (健康)、中心: 鹿児島県旗、
4本の流れ: 鹿児島県・県医師会・結核
予防会・成人病予防協会の四者構成
(設立団体) と融和を示す。



公益財団法人 鹿児島県民総合保健センター

[(公財) 結核予防会鹿児島県支部 (公財) 予防医学事業中央会鹿児島県支部]
[(公財) 日本対がん協会鹿児島県支部 (公社) 全国労働衛生団体連合会会員]

〒890-8511 鹿児島市下伊敷三丁目1番7号

TEL 099(220)2332(代表)

FAX 099(220)2883

URL <http://www.kpchc.or.jp>

